



※1キロ粒剤・フロアブルのみ

※移植のみ

※ジャンボを除く

水稲用 初・中期一発処理除草剤

# シンゲキ®

1キロ粒剤 豆つぶ<sup>®</sup>250 ジャンボ フロアブル

# 水田除草が ここから 始まる。

ホタルイ

ノビエ

オモダカ



エフィーダ®  
(茎葉白化作用)



フェントラザミド  
(ノビエ残効性)

2成分でしっかり除草



※商品画像はイメージです。®はクミアイ化学工業(株)の登録商標

水稲用 初・中期一発処理除草剤

# シンゲキ

1キロ粒剤

豆つぶ250  
ジャンボ  
フロアブル

- 有効成分：フェンキトロリオン…3.0%(1キロ粒剤)、12.0%(豆つぶ・ジャンボ)、5.6%(フロアブル)  
フェルトラザミド…3.0%(1キロ粒剤)、12.0%(豆つぶ・ジャンボ)、5.6%(フロアブル)
- 人畜毒性：普通物(毒劇物に該当しないものを用いるという通称)



## 特長

- ノビエ、オモダカ、ホタルイなど幅広い雑草に卓効。
- 安全性の高い2成分の組み合わせにより安心してお使いいただけます。
- SU抵抗性雑草にも高い除草効果を示します。

## 適用雑草及び使用方法

2023年12月20日現在の登録内容

\*各有効成分を含む農薬の総使用回数：フェンキトロリオン2回以内、フェルトラザミド1回

### 1キロ粒剤(農林水産省登録 第24684号)

作物名	適用雑草名	使用時期	10アール 当り 使用量	本剤の 使用回数	使用方法
移植水稲	一年生雑草及び マツバイ、ホタルイ、ウリカワ、ミスガヤツリ ヒルムシロ、セリ、オモダカ、コウキヤガラ アオミドロ・藻類による表層はく離	移植時	1kg	1回*	田植同時散布機で施用
		移植直後～ノビエ2.5葉期 但し、移植後30日まで			湛水散布
直播水稲	一年生雑草及び マツバイ、ホタルイ、ウリカワ、ミスガヤツリ ヒルムシロ、セリ	稲1葉期～ノビエ2.5葉期 但し、収穫90日前まで			湛水散布又は 無人航空機 による散布

### 豆つぶ250(農林水産省登録 第24685号)

作物名	適用雑草名	使用時期	10アール 当り 使用量	本剤の 使用回数	使用方法
移植水稲	一年生雑草及び マツバイ、ホタルイ、ウリカワ、ミスガヤツリ、ヘラオモダカ ヒルムシロ、セリ、オモダカ、コウキヤガラ	移植直後～ノビエ2.5葉期 但し、移植後30日まで	250g	1回*	湛水散布、 湛水周縁散布、 水口施用又は 無人航空機による散布
		稲1葉期～ノビエ2.5葉期 但し、収穫90日前まで			湛水散布、 湛水周縁散布又は 無人航空機 による散布
直播水稲	一年生雑草及び マツバイ、ホタルイ、ウリカワ、ミスガヤツリ ヒルムシロ	稲1葉期～ノビエ2.5葉期 但し、収穫90日前まで			湛水散布、 湛水周縁散布又は 無人航空機 による散布

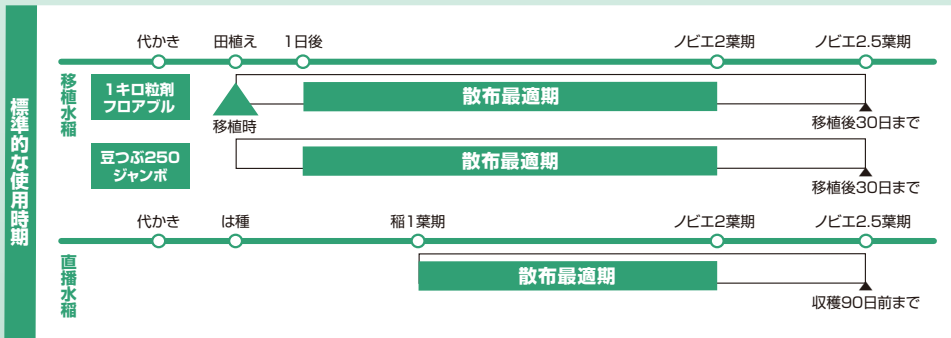
### ジャンボ(農林水産省登録 第24686号)

作物名	適用雑草名	使用時期	10アール 当り 使用量	本剤の 使用回数	使用方法
移植水稲	一年生雑草及び マツバイ、ホタルイ、ウリカワ、ミスガヤツリ、ヘラオモダカ ヒルムシロ、セリ、オモダカ、コウキヤガラ	移植直後～ノビエ2.5葉期 但し、移植後30日まで	小包装 (パック) 10個 (250g)	1回*	水田に小包装(パック) のまま投げ入れる。
		稲1葉期～ノビエ2.5葉期 但し、収穫90日前まで			
直播水稲	一年生雑草及び マツバイ、ホタルイ、ウリカワ、ミスガヤツリ ヒルムシロ	稲1葉期～ノビエ2.5葉期 但し、収穫90日前まで			

### フロアブル(農林水産省登録 第24687号)

作物名	適用雑草名	使用時期	10アール 当り 使用量	本剤の 使用回数	使用方法
移植水稲	一年生雑草及び マツバイ、ホタルイ、ウリカワ、ミスガヤツリ、ヘラオモダカ ヒルムシロ、セリ、オモダカ、コウキヤガラ アオミドロ・藻類による表層はく離	移植時	500ml	1回*	田植同時散布機で施用
		移植直後～ノビエ2.5葉期 但し、移植後30日まで			原液湛水散布、水口施用 又は無人航空機による滴下
直播水稲	一年生雑草及び マツバイ、ホタルイ、ウリカワ、ミスガヤツリ、ヒルムシロ セリ、アオミドロ・藻類による表層はく離	稲1葉期～ノビエ2.5葉期 但し、収穫90日前まで			原液湛水散布又は 無人航空機 による滴下

## 上手な使い方



## 【使用上の注意(抜粋)】

- 【共通】
- 本剤は雑草の発生前から生育初期に有効なので、ノビエの2.5葉期までに、時期を失しないよう散布してください。なお、多年生雑草は生育段階によって効果に違いが出るので、必ず適期に散布してください。ホタルイ・ミスガヤツリ(1キロ粒剤)、ウリカワは葉期まで、ヘラオモダカは1葉期まで(1キロ粒剤除く)、オモダカ、コウキヤガラは発生始まで、ミスガヤツリは草丈15cmまで(1キロ粒剤除く)、ヒルムシロは発生期まで、セリは再生始まで、アオミドロ・藻類による表層はく離は発生前まで(1キロ粒剤・フロアブル)が本剤の散布適期です。
  - オモダカ、コウキヤガラは発生期間が長く、遅い発生のものまで十分な効果を示さないもので、必要に応じて有効な後処理剤との組み合わせで使用してください。
  - 苗の植付けが均一となるように、代かきおよび植付作業はていねいにおこなってください。未熟有機物を施用した場合は、特にていねいにおこなってください。
  - 以下のような条件下では薬害が発生するおそれがあるので使用をさけてください。
    - 異常高温の時、あるいは散布後数日以内に梅雨明けになるなど異常高温予想される時
    - 活着遅延を生じるとするような異常低温の時
    - 砂質土壌の水田および漏水田(湛水深が2cm/日以上)
    - 軟弱苗を移植した水田
    - 極端な浅植えの水田および浮き苗の多い水田
    - 植穴の戻りの悪い水田
  - 直播水稲に使用する場合は、以下の点に注意してください。
    - 稲の根が露出した条件下では薬害を生じるおそれがあるので使用をさけてください。
    - 除草効果の低下と生育抑制の薬害が発生するおそれがあるので、入水後水持ちの安定した後に散布してください。
    - 梅雨時等、散布後に多量の降雨が予想される場合は、除草効果が低下するおそれがあるので使用をさけてください。
    - 散布した水田の田面水を他の作物の湛水に使用しないでください。
    - 本剤はその殺草特性から、いくさ、れんこん、せり、くわいなどの生育を阻害するおそれがあるので、これらの作物の生育期に隣接田で使用する場合は十分に注意してください。
    - 本剤の使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法などを誤らないように注意するほか、別途提供されている技術情報も参考にして使用してください。特に初めて使用する場合は、異常気象の発生には、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることをお勧めします。
  - 【1キロ粒剤】
    - 散布の際は、水の出入りを止めて湛水状態のまま田面に均一に散布し、散布後3～4日間は通常の湛水状態(水深3～5cm)を保ち、散布後7日間は落水、かけ流しをしないでください。また、入水は静かにおこなってください。
    - 【1キロ粒剤・豆つぶ250】
      - 無人航空機で使用する際は以下に注意してください。
        - 散布には使用機種の使用基準に従って実施してください。
        - 専用の粒剤散布装置によって湛水散布してください。
        - 事前に薬剤の物理性に合せて粒剤散布装置の角度を調整してください。
        - 散布薬剤の飛散によって他の植物に影響を与えないよう散布区域の選定に注意し、当該水田周辺部への飛散防止のため散布装置のインペラの回転数を調整し、ほ場の端から5m以上離してほ場に散布してください。
        - 水源池、飲料用水などに飛散、流入しないよう十分に注意してください。
    - 【豆つぶ250】
      - 湛水散布の場合は田面に散布し、また、湛水周縁散布の場合は、水田周縁部に沿って帯状に散布し、散布後3～4日間は通常の湛水状態(水深3～5cm)を保ち、散布後7日間は落水、かけ流しをしないでください。また、入水は静かにおこなってください。
      - 水口施用の場合は、あらかじめ1～2cm程度水深を確保した状態で、入水時に本剤を水口に施用し、流入水とともに水田全面に拡散させ、処理後田面水が通常の湛水状態(水深3～5cm)に達した時に必ず水を止め、田面水があふれ出ないように注意してください。散布後少なくとも3～4日間は通常の湛水状態(水深3～5cm)を保ち、散布後7日間は落水、かけ流しをしないでください。
      - 藻類・表層はく離などの水面浮遊物が多い場合は、拡散が不十分になるおそれがあるため周縁散布をさせ、本田内で水田全面に散布してください。
      - 吸湿性があるので、散布時に陰雨の場合には濡れないように注意して散布してください。濡れた手で扱わないでください。また、開封後は早めに使用してください。
    - 【豆つぶ250・ジャンボ】
      - 散布の際は、やや深めの湛水状態(5～6cm)にして水の出入りを止めてください。
    - 【ジャンボ】
      - 散布後少なくとも3～4日間は通常の湛水状態(水深3～5cm)を保ち、散布後7日間は落水、かけ流しをしないでください。また、入水は静かにおこなってください。
      - 小包装(パック)のまま10アールあたり10個の割合で水田に均一に投げ入れてください。
      - 藻類・表層はく離、浮き草などの水面浮遊物が多い場合は、拡散が不十分になるおそれがあるため、使用はさけてください。
      - パックに使用しているフィルムは水溶性なので、濡れた手で作業したり、降雨で破棄することかかないように注意してください。
    - 【豆つぶ250・フロアブル】
      - 水口に対して向かい風が吹いている場合は、本剤の拡散が不十分になるおそれがあるため水口施用をさけてください。
    - 【フロアブル】
      - 本剤の使用に当たっては、使用前に容器をよく振ってください。
      - 散布の場合は、水の出入りを止めて湛水状態(水深3～5cm)のまま水田全面にゆきわたるように散布してください。散布後3～4日間は通常の湛水状態(水深3～5cm)を保ち、散布後7日間は落水、かけ流しをしないでください。また、入水は静かにおこなってください。
      - 水口施用の場合は、あらかじめ1～2cm程度水深を確保した状態で、入水時に本剤を水口に施用し、流入水とともに水田全面に拡散させ、処理後田面水が通常の湛水状態(水深3～5cm)に達したときに必ず水を止め、田面水があふれ出ないように注意してください。散布後少なくとも3～4日間は通常の湛水状態(水深3～5cm)を保ち、散布後7日間は落水、かけ流しをしないでください。
      - 無人航空機で滴下する際は以下に注意してください。
        - 滴下には使用機種の使用基準に従って実施してください。
        - 滴下に当たっては散布装置のノズルを取り外してください。
        - 作業中、薬液の漏れのないように機体の配管その他装置の十分な点検を行ってください。
        - 隣接するほ場に水稲以外の作物が栽培されている場合は、他の植物に影響を与えないように風の影響などを十分考慮して滴下してください。
        - 水源池、飲料用水などに飛散、流入しないよう十分に注意してください。
        - 薬剤滴下に使用した装置は十分に洗浄し、薬剤タンクの洗浄廃液は安全な場所に処理してください。
      - 本剤の滴下に使用した無人航空機の散布装置は、水稲以外の作物への薬剤散布には使用しないでください。
      - 蚕に対して影響があるので、周辺の養蚕にはかからないようにしてください。

詳しい使い方、登録内容とSDSはこちらから。

●使用前にはラベルをよく読んでください。 ●ラベルの記載以外には使用しないでください。 ●本剤は小児の手の届く所には置かないでください。 ●防除日誌を記録しましょう。 本資料は2023年12月20日現在の知見に基づき作成しています。 2335(24-1)